

日本NPO学会 第21回年次大会 基調講演

ドイツの地方都市はなぜ クリエイティブなのか

～市民社会組織から考える～



基調講演 **高松 平藏** 氏
ドイツ在住ジャーナリスト

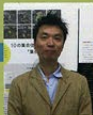
申込不要

(資料代1,000円)

公開シンポジウム

「人口減少の地域づくりと市民社会」

パネリスト



高村 学人 氏

立命館大学
経営科学研究科教授



柏木 登起 氏

(一財)関西コミュニティ創造協会
常務理事兼専務理事



金子 勝規 氏

大阪府立大学大学院
経済学研究科教授



尼野 千絵 氏

NPO法人暮らしづくりネットワーク代表



新川 達郎 氏

同志社大学大学院
総合政策科学研究科教授

コーディネーター

2019.6.1 sat 14:40~17:50

龍谷大学瀬田キャンパス8号館103教室

日本NPO学会 第21回年次大会

少子高齢化や人口減少などを背景に、日本各地で疲弊した地域が増えている。それに対して、地域住民が組織化した社会的企業を立ち上げたり、あるいはNPOと自治体町内会等が連携などし、行政を巻き込みながら、福祉や経済活性化といった地域課題の解決を模索しているところも見受けられる。こうした地域住民をベースとして地域の課題全体に向き合うコミュニティディベロップメント型のNPO・社会的企業の可能性と今後の課題について、研究者による学術的報告、および実務家による実践的報告を受け、その間での活発な議論を行いたいと考える。

基調講演

ドイツの地方都市はなぜクリエイティブなのか ～市民社会組織から考える～

基調講演者 高松 平蔵 氏

1969年生まれ。奈良県出身。ドイツ在住ジャーナリスト。エアランゲン市（バイエルン州人口11万人）およびその周辺で、取材・リサーチを行っている。取材分野は多岐に渡るが、日独の生活習慣や社会システムの比較をベースに地域社会のビジョンをさぐるような記事を取筆。一時帰国の際、自治体関係、大学などでの講演・講義のほか、エアランゲンでも集中講義とエクスカーションを組み合わせた研修プログラム「インターローカルスクール」を同時行っている。著書に「ドイツの地方都市はなぜクリエイティブなのか 質を高めるメカニズム」（学芸出版、2016年）などがある。



公開シンポジウム 「人口減少の地域づくりと市民社会」

パネリスト略歴

尼野 千絵 氏

NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝

2004年に入職。コミュニティカフェの店長として7年間働く。2011年北海道のNPO法人地域生活支援ネットワークサロンにて若者支援、相談支援を学ぶ。2012年北芝に戻り、若者支援事業の立ち上げ、生活困窮者自立支援事業の相談員として従事。現在は、企業と協働での仕事づくりなどを通して、地域のなかで多様なひとたちが自分らしく働く場をつくることを目指して実践を重ねている。

高村 学人 氏

立命館大学政策科学部教授

石川県金沢市育ち。早稲田大学法学部で法社会学を専攻した後、東京大学社会学研究所助手、東京都立大学法学部助教授を経て、2007年4月に現職学部に着任。博士（法学）、専門社会調査士。フランスのENS de Cachan（1999-2001, 2002-2003年）、アメリカのUCバークレー（2014-2015年）にて客員研究員。2016年に日本学術振興会賞を受賞。専門は法社会学、コモンズ研究、比較法史。著書に『コモンズからの都市再生—地域共同管理と法の新たな役割』ミネルヴァ書房（藤田賞受賞）、『アソシエーションへの自由（共和国）の論理』勁草書房（淡沢クローデル・ルイ・ビトン・ジャパン特別賞）がある。

コーディネーター

新川 達郎 氏

同志社大学大学院総合政策科学研究科教授

早稲田大学大学院政治学研究所修了、東北大学助教授を経て現職。専門は行政学、市民参加・市民社会論、ソーシャル・イノベーション論。NPO法人水・環境ネット東北代表理事、NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事、公益財団法人京都地域創造基金理事長、一般財団法人地域公共人材開発機構理事長、一般社団法人東北地域づくりコンソーシアム代表理事など。著書に『公的ガバナンスの動態研究』（編著、ミネルヴァ書房）、『政策学入門』（編著、法律文化社）、『京都の地域力再生と協働の実践』（編著、法律文化社）など。

金子 勝規 氏

大阪市立大学大学院経済学研究科教授

神戸商科大学（現・兵庫県立大学）大学院経済学研究科博士後課程単位取得退学、博士（経済学）。International Graduate Studies Human Resource Development Center, Burapha University 講師。大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授を経て、2018年より現職。現地調査に基づいたタイを中心とする東南アジアの病院産業、人的資源開発、医療需要の研究に取り組んでいる。主な論文に「タイの医療人的資源政策とASEAN 経済共同体」（国際公共経済研究、2012年）「タイにおける社会的企業の現状と課題」（季刊経済研究、2016年）など。

柏木 登起 氏

一般財団法人明石コミュニティ創造協会 常務理事兼事務局長

1980年兵庫県明石市生まれ。民間企業の営業職を経て、NPOの世界に。現在は、主体的に活動する「市民」が活躍する市民社会の実現を目指し、コミュニティ・プランナーとして活動する。「シミンのジリツ（自律と自立）」をキーワードに、市民参加の企画・プロデュース業を行うNPO法人シミンズーズの代表理事をつとめ、一般財団法人明石コミュニティ創造協会の常務理事兼事務局長として地域自治組織の支援等にも関わる。

Access

1) 兵庫県本館 新田、駅から中心部までの徒歩約15分
Approximately 15 minutes by foot from JR Seta Station (Seta Station)
〒520-2194 兵庫県本館 大和町5-1-5
1-5 Yokotani, Seta-cho, Otta, Shiga 520-2194
Tel: 077-943-9111



「日本NPO学会 第21回年次大会 公開シンポジウム」

2019年6月1日(土)14:40～17:50 龍谷大学 瀬田キャンパス8号館103教室
【申込不要】※資料代1,000円を頂戴します。

主催：日本NPO学会第21回年次大会実行委員会
(大会実行委員長：龍谷大学 高井のり子)

(共催)
龍谷大学 / 龍谷大学社会学部学会
龍谷大学福祉フォーラム

問合せ先：日本NPO学会第21回年次大会事務局

☒ apply2019@janpora.org